

## 令和5年度昭和館運営事業計画案について

令和5年度も引き続き新型コロナの感染状況を考慮しつつ事業を実施することとする。

## 1 令和5年度昭和館運営事業予算(案)

	令和5年度	令和4年度	前年度比
<歳入関係>			
1. 昭和館運営委託費	469,012 千円	460,577 千円	8,435 千円
2. 昭和館運営収入	19,255 千円	19,255 千円	0 千円
合 計	488,267 千円	479,832 千円	8,435 千円
<歳出関係>			
1. 事務人件費等	59,129 千円	56,063 千円	3,066 千円
2. 管理諸費	178,900 千円	156,600 千円	22,300 千円
3. 事業人件費等	102,997 千円	110,830 千円	7,833 千円
4. 資料購入・整備関係	32,200 千円	37,557 千円	5,357 千円
5. 情報機器関係	49,500 千円	47,500 千円	2,000 千円
6. 展示替え経費	2,400 千円	6,000 千円	3,600 千円
7. 特別企画展経費	21,000 千円	24,666 千円	3,666 千円
8. 来館促進経費	20,491 千円	21,717 千円	1,226 千円
9. その他	21,650 千円	18,899 千円	2,751 千円
合 計	488,267 千円	479,832 千円	8,435 千円

上記に加え、特別企画展用ガラスケース更新経費等を令和4年度補正予算に 21,633 千円計上し、令

和5年度に繰り越して実施予定。

## 2 広報活動計画

### (1) 昭和館事業のPR活動等

昭和館の事業内容のPR及び春、夏の特別企画展の案内を行い、鉄道車両及び交通機関の主要駅にポスター等を掲示する。また、東京メトロ九段下駅4出口、東西線2番ホーム、半蔵門線3番ホーム、JR飯田橋駅の電飾掲示板に掲示し、集客に努める。九段郵便局、さらに、東京メトロ・東京都交通局一日乗車券特典ガイド「ちかとく」JTBや千代田区等のガイドブック、毎月発行される千代田区報に当館の紹介記事を掲載する。

その他、新聞広告等については、主要新聞等や日本教育新聞に掲載をする。

### (2) 広報資料の送付等

「昭和館館報」については、都道府県、政令指定都市、東京特別区、教育委員会、老人クラブ連合会、各省庁図書館に対し送付する。なお、都道府県遺族会、類似施設、大学図書館等には、「昭和館館報」と「昭和の暮らし研究」を併せて送付し、当館の周知徹底を図る。

また、令和5年6月頃に、昭和館と学校をつなぐ広報誌「昭和館だより」第40号を全国の公立小・中学校・中等教育学校と令和4年度の来館小学校(5年生)・中学校(2年生)、さらに、東京都の校長会等で配付依頼した公立小学校(5年生)に発送し当館の周知を図る。なお、令和5年12月頃には「昭和館だより」第41号を送付し、社会科見学等の学校行事としての来館促進を図る。

### (3) 刊行物の発刊

以下の刊行物を発刊する。

「昭和館館報」(令和4年度版)

「昭和の暮らし研究」(第22号)

## 3 来館促進対策

### (1) 常設展示室の入場無料等について

「昭和の日」(4月29日)、「戦没者を追悼し平和を祈念する日」(8月15日)に常設展示室を入場無料とする。

### (2) 第22回昭和館見学作文コンクール

令和5年度も引き続き実施し、7月に募集を開始する予定で進めていく。

### (3) 第16回昭和館中学生・高校生ポスターコンクール

令和5年度も引き続き実施する(7月上旬に募集開始予定)。

### (4) 教員のための博物館体験

体験内容の充実と広報に努め、博学連携を図る。

### (5) 貸出キット

実物資料や展示用パネル等の貸出を行う。

小中高等学校、公共団体及び各地の遺族団体に働き掛け、更なる利用促進を図る。

#### (6) 紙芝居定期上演会

当館所蔵の紙芝居上演会を、奇数月の第4土曜日にニュースシアターまたは2階ひろばにおいて実施する。

開催予定日：令和5年5月27日、7月22日、9月23日、11月25日、  
令和6年1月27日、3月23日

#### (7) こども霞ヶ関見学デー

令和5年8月に「こども霞ヶ関見学デー」が開催された場合、厚生労働省の会場において出張展示を行う。

#### (8) オンライン学習プログラムの整備

新型コロナウイルス感染症により、来館ができない方が多いことを踏まえ、学校等と昭和館をオンラインでつなぎ、学芸員による展示解説などを行うオンライン学習プログラムを行うための環境整備等を行う。

### 4 展示事業

#### (1) 常設展示

長期展示による資料の劣化を避け、より多くの方々の寄贈資料を紹介するため、常設展示室を休室して資料の入替と清掃作業を行う。1回目は令和5年6月26日(月)から28日(水)まで、2回目は常設展示室展示替え工事(展示什器の更新)とあわせて令和6年1月5日(金)から15日(月)に実施する。

#### (2) 特別企画展

「時代をまとう女性たち」(再掲)【資料5】

開催期間

令和5年3月11日(土)～5月7日(日)

後援

千代田区、千代田区教育委員会

内 容

「ファッションは時代を映す鏡」という表現があるように、服装は時代の移り変わりと密接な関係にある。昭和の激しい社会変化も例外なく、和装から洋装へ、家庭裁縫から既製服へ、特に女性の服装に大きな影響を与えた。

本展覧会では、昭和の世相とともに移り変わっていった女性の服装について紹介する。

### 「歴史探偵 半藤一利展」(仮称)

#### 開催期間

令和5年7月15日(土)～9月3日(日)

#### 会 場

昭和館3階 特別企画展会場

#### 後 援(申請予定)

千代田区、千代田区教育委員会(申請予定)

#### 内 容

「歴史探偵」と自らを称し、激動の昭和史と正面から向かい合った作家半藤一利氏が令和3年1月に亡くなり、2年の月日が過ぎた。昭和10年代は少国民として育ち、東京大空襲では九死に一生を得た半藤氏は、その生涯を昭和史の取材と研究に費やした。

令和4年度に半藤氏の遺稿・遺品等の寄贈を受けたことを記念して、関連資料を紹介するとともに、半藤氏の足跡をたどる特別企画展を開催する。

### (3) 巡回特別企画展

### 「くらしにみる昭和の時代 奈良展」(仮称)

#### 開催期間

令和5年6月15日(木)～6月24日(土)\*19日は休館日

#### 会 場

横奈良市美術館 第1展示室

(奈良県奈良市二条大路南一丁目3番1号ミ・ナーラ5階)

#### 協力・後援等(予定)

協 力 一般財団法人奈良県遺族会および日本遺族会第3ブロック

後 援 奈良県 奈良市 奈良県教育委員会 奈良市教育委員会  
在奈良県マスコミ各社(申請予定)

#### 内 容

戦中・戦後の国民生活上の労苦を後世代に伝えるため、実物資料・写真資料・映像資料等を通じて、困難の多かった時代における人々のくらしを紹介する。

昭和館・しょうけい館・平和祈念展示資料館 3館連携企画展  
「くらしにみる昭和の時代 宮城展」(仮称)

開催期間

令和5年12月9日(土)～19日(火)

会場

せんだいメディアテーク 5階ギャラリー3300  
(宮城県仙台市青葉区春日町2-1)

主催

昭和館 しょうけい館 平和祈念展示資料館

協力・後援等(予定)

協力 一般財団法人宮城県連合遺族会および日本遺族会第1ブロック  
後援 宮城県 仙台市 宮城県教育委員会 仙台市教育委員会  
在宮城報道各社 (申請予定)

内容

戦中・戦後の国民生活上の労苦を後世に伝えるため、実物資料・写真資料・映像資料等を通じて、困難が多かった時代における人々のくらしを紹介する。

(4) 写真展(2階ひろばにて)

令和5年3月18日(土)から5月7日(日)まで「子どもたちの戦中・戦後」(仮称)と題した写真展を予定している。時代によって変化する子どもたちのくらしを所蔵写真で紹介する。

【資料6】

秋と来春については、所蔵写真の中からテーマを決めて実施していく。

## 5 資料収集

### (1) 実物資料の収集

令和4年度に引き続き、収蔵庫の整理を進める。資料収集については、長期的な展望に立ち、資料情報を慎重に精査した上で受入れを検討する。資料修復は従来通り進める。

### (2) 文献・図書資料の収集

令和5年度も引き続き戦中・戦後の生活関連図書および戦争に関する基本的図書等約2,000冊の新刊書および古書の購入を目標にしており、特に戦中・戦後の国民生活に関する図書資料の一層の充実を図る方針を継続する。利用者からの閲覧要望が多い『少年倶楽部』『少女倶楽部』『婦人倶楽部』など当時愛読された雑誌の欠号補充を行うとともに、昭和館収蔵図書の一つの特徴である手記や体験集、戦中・戦後にかけての日本各地の写真集や児童書などの収集に力を入れていく。また、昭和館HPやチラシ等による資料寄贈の呼びかけは継続して行う。

### (3) 映像関連資料の収集

特別企画展や昭和館懐かしのニュースシアターなどでの活用を充実させるため、令和5年度においても「日本ニュース」を中心に、戦中・戦後の国民生活に関する動画や静止画の収集を行う。

### (4) オーラルヒストリーの制作

体験者の証言を映像で記録して残すとともに、資料公開コーナーや巡回特別企画展、貸出キットなどを通して公開していくことを目的にオーラルヒストリーの制作を実施している。映像音響室で現在公開している作品数は389作品である。

令和5年度においても、戦中・戦後の苦しかった生活の実態や戦後復興にご苦労された方の証言も加え、内容の充実を図っていく。

## 6 戦中・戦後の労苦を伝える語り部活動事業

昨年度に引き続き「次世代の語り部」として講話活動を実施するとともに、講話の充実と「次世代の語り部」としての知識や意識の向上をはかるためにフォローアップ研修を実施する。

## 7 情報検索システムの充実

### (1) 図書・雑誌資料のデータ入力

図書・雑誌の検索や閲覧のため、令和4年度に購入及び寄贈を受けた図書や雑誌約2,000冊の装備と書誌データ・目次データの入力を行い、来館者が利用できるようにする。

### (2) デジタル雑誌システムのデータ作成

『毎日新聞』『讀賣ウイークリー』をはじめ、資料の破損などによって原本を提供することが難しい資料、さらにデジタルデータでの提供に移行した方がよいと思われる雑誌を中心にデジタル化を進めていく。

### (3) SPレコードのデジタル化

引き続きレーベル画像及び音源のデジタル化を行いアーカイブにて公開していく。音源デジタル化については来館者からのリクエスト等を優先して実施する。

### (4) 映像資料のデジタル化

フィルムを所蔵するニュース映像については、ニュースシアターにおいて高画質な映像が提供できるようにハイビジョン化を実施していく。

### (5) 写真資料のデジタル化

令和元年に寄贈された師岡宏次撮影写真のネガコレクションの整理を進め、公開に向けて順次データ化を進めている。総数約30,000点のうち、約15,000点のデジタル化(データ化)が終了している。

## (6) SNSの活用

ツイッターやフェイスブックを活用し、ニュースシアターの番組紹介、図書室での資料紹介等を随時アップして来館者の利用促進を図る。

## 8 資料の公開・展示

### (1) デジタルアーカイブの充実

令和5年4月に昭和館デジタルアーカイブを公開するが、公開後もアーカイブのコンテンツ拡充を図る。

これまで、昭和館ホームページでの資料検索は、図書・映像・レコードと個々の資料ごとに検索を行うしかできなかったが、デジタルアーカイブによって昭和館所蔵資料を横断的に検索することを可能になり、地図や海図資料も検索できるようになった。所蔵資料の情報を公開することで、昭和館への来館促進につなげたい。また写真、映像等の公開データを増やし、資料データの利活用を図る。

令和5年度には、ジャパンサーチ(国立国会図書館が運用している、国内のデジタルアーカイブと連携し、多様なコンテンツをまとめて検索・閲覧・活用できるプラットフォーム)との連携を予定しており、これまで以上に昭和館資料が広く検索、活用されることが期待される。

### (2) 昭和館懐かしのニュースシアター

収集したニュース映画を「昭和館懐かしのニュースシアター」で毎日上映しており、引き続き実施する。プログラムは毎週土曜日に更新しており、戦中・戦後の同時期に撮影されたニュース映画を紹介するとともに、過去に制作したオーラルヒストリーについても上映していく。

### (3) 資料公開コーナーの運用

5階映像・音響室及び4階図書室の利用促進と、収蔵資料をさらに多くの方に関心をもって見ていただくことを目的に1階ロビーの「資料公開コーナー」で、写真、映像、SPレコード、図書・雑誌などを紹介する展示を継続して行う。話題の事柄等をテーマに取り上げて、年4回程度の展示を行う。

### (4) 館内の検索システム

収集した図書資料をはじめ、映像資料、静止画資料、音響資料などの資料データベースの作成及び映像、静止画、音響資料のデジタル化を行い、館内の検索システムで順次公開していく。

### (5) 資料紹介

図書室では、テーマを設定した関連資料の紹介を定期的に行うとともに、時事的なトピックや特別企画展や写真展等に関連する資料については随時紹介していく。

また、夏休みには子ども向けワークシート等を作成し小・中学生の利用促進を図る。

## 9 関係施設との連携

### (1) 関係施設等連携会議の開催

戦中・戦後の労苦について国民への理解を深め、戦争を知らない世代への継承を図るため「昭和館」「しょうけい館」「平和祈念展示資料館」が連携して事業を推進する。

年2回関係施設等連携会議を実施予定。

### (2) 「夏休み3館めぐりスタンプラリー」の実施

引き続き、夏休みの児童・生徒を対象として令和5年7月から9月まで「夏休み3館めぐりスタンプラリー」を実施予定。

### (3) 巡回特別企画展の相互協力

宮城県における巡回特別企画展(「しょうけい館」「平和祈念展示資料館」と「3館連携企画展」)の開催

令和5年12月9日(土)～19日(火)

### (4) 移動教室(千代田区立九段生涯学習館)について

平和祈念展示資料館が実施予定の移動教室と連携した資料展示等を行う。

## 10 運営専門委員会の開催

昭和館運営事業について有識者から様々な意見を聴取するため、令和5年度も昭和館運営専門委員会を2回開催予定。

## 11 常設展示室の入場料金改定について

昭和館は、平成11年3月に開館し、既に23年余が経過した。この間、建物や資料管理設備等の老朽化が進み、券売機も故障時の部品調達が出来なくなり、更に令和6年には新札が導入されることになり、また、新型コロナウイルス感染防止対策として電子マネーに対応するよう迫られていた。そのため令和5年度予算要求に電子マネー、IC対応の券売機への変更をお願いし、認められたところである。しかしながら電子マネー、IC対応の券売機は、LAN設備や取りまとめ会社への手数料が4%弱かかるなど、リース料以外に経費がかかる。

昭和館では開館以来、消費税率の引き上げなど大きな社会情勢の変化がみられたが、入場料金を据え置いており、一方、平成27年4月からは次世代を担う子供たちへの来館を促進するため、小中学校の入場料金を無料としている。

については、昨今の電気料金の高騰や手数料の負担分、老朽化した建物や資料管理設備等の維持費を少しでも補うため、入場料の改定を実施したい。

なお、実施時期は、令和5年度早々に実施としたい。

・ 料金改定(案)	改定率
大人 300円	400円(団体20名以上 360円) 33.3%



65～	270円	360円(団体20名以上	320円)	33.3%
学生	150円	200円(団体20名以上	180円)	33.3%
小中	無料	無料		

### 参考データ

#### (1) 常設展示室入館者におけるアンケートの実施

令和4年10月～12月

設問：入場料金について

回答数：884名

安い・やや安い 536名(60.7%)

妥当 337名(38.1%)

高い・やや高い 11名(1.2%)

#### (2) 常設展示室入館者数(過去5年)...個人利用の大人のみ抜粋

平成30年度 16,904名

令和1年度 14,253名

令和2年度 6,811名

令和3年度 7,286名

令和4年度 9,459名(1月末)

#### (3) 類似施設の直近改定状況(大人の例)

			改定率
科学技術館	880円	950円(令和5年～)	8.0%
遊就館	800円	1,000円(平成30年～)	25.0%
舞鶴引揚記念館	300円	400円(令和2年～)	33.3%
歴史民俗博物館	420円	600円(平成31年～)	42.9%
東京国立博物館	620円	1,000円(令和2年～)	61.3%